

都市計画
City Planning

教員名	小浦 久子(こうら ひさこ)							
教員連絡先 (研究室所在地・TEL)	吹田キャンパス S 1 棟 7 階 7 1 1 室 電話: 06-6879-7627							
E-MAIL アドレス	koura@arch.eng.osaka-u.ac.jp							
履修対象	建築工学コース (3 年次)							
単位	2	セメスター				6		
受講条件	特になし							
授業の教育目的・目標 他科目との関連	市街地の成り立ちと都市空間を理解するための基本を学習する。都市計画制度と都市環境の基本的知識を習得するとともに、景観や住環境を建築物の構成としてとらえ、事例をとおして建築と都市の関わりを建築的課題から考える。							
学習・教育目標	A	B	C	D	E	F	G	H
	○		◎					○
授業計画・概要	テーマ	概要						学習・教育目標
	都市の歴史と市街地の空間構成 (3回)	都市空間を構成する基本要素とその構成のあり方を学習するとともに、市街化履歴により道路パターン・建物形式と建て方などが異なる多様な市街地空間が存在し、それぞれに異なる整備・保全の課題をもつことを示し、都市空間を理解するための基礎的な知識を身につける。(包括3回)						A C
	都市計画の基本 (3回)	都市計画マスタープランと土地利用計画、法定都市計画の基本となる地域地区制・都市施設計画・市街地開発事業に関する基礎的な知識を身につける。(包括3回)						H C
	土地利用規制と市街地形成 (1回)	市街地を建築物の構成としてとらえ、市街地の基盤条件と建築物の用途・形態・配置等による都市空間の実態を把握する考え方とその多様な市街地の基本性能について専門的な知識を身につける。(高度1回)						C
	都市景観と都市計画 (3回)	景観の保全・形成に関する都市計画の基礎的な知識を身につける(包括1回)とともに、景観形成とまちづくり、開発とアーバンデザインについて解説し、景観の観点から建築と都市に関する専門的知識を習得する。(高度2回)						C
	地区レベルのまちづくりと住環境 (3回)	地区レベルのまちづくりに関する都市計画のしくみについての基礎的な知識を得る(包括1回)とともに、地域が主体的に関わる安全で安心できる都市づくりと住環境の計画に関する専門的知識を習得する。(高度2回)						A C
	都市環境の安全 (1回)	自然風土と都市の関係、災害への対応等、都市レベルの都市の安全に関する基礎的知識を習得する(包括1回)						A C
	学期末試験 (1回)							
教科書	特に指定しない(授業中に資料を配布する)							
参考図書・文献等	「地域共生の都市計画」三村浩史 学芸出版社 「初学者のための都市工学入門」高見沢実 鹿嶋出版会							
成績評価方法・評価基準	A、C、Hとも、学期末試験(100%)で評価する。							
オフィスアワー	随時 e-mail にて対応							
コメント								